

熊谷市主要駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要

1 概要

- ◆ 活動エリア : JR・秩父鉄道 熊谷駅、JR 籠原駅周辺
- ◆ 会長 : 東日本旅客鉄道(株) 熊谷駅長
- ◆ 会員数 : 16人(その他オブザーバー4団体)

駅	事業者	行政	その他
3人	4人	9人	0人

- ◆ 乗降客数約 100,000人/日
(JR・秩父鉄道 熊谷駅、JR籠原駅の合計)
 - ◆ 地域の特徴
 - ・駅利用者は「近隣市から」「近隣市へ」の移動が多い。
 - ・熊谷駅までの交通手段は「自転車・徒歩」が6割強。
- ①大勢の「徒歩帰宅者」発生、②駅周辺への「送迎車」による混雑が予想される。

2 活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 1回
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無、内容
協議会としてはマニュアル無し
参考: 熊谷市帰宅困難者対応マニュアル(平成25年8月策定)
- ◆ 備蓄状況
 - ・乾パン・アルファ米等を約130,000食備蓄。
※現時点では、避難住民用、帰宅困難者用、職員用を明確に区分して備蓄していない。
- ◆ 備蓄状況
 - ・協定に基づき、一時滞在施設(駅周辺7ホテル)に、保存用ビスケット、500ml保存水、LEDランタン、携帯電話充電セットを備蓄(令和2年度)
- ◆ その他の活動
駅周辺の宿泊施設における一時滞在施設利用に関する協定の締結(令和2年度)

3 訓練内容

- ◆ 令和2年度中止